

令和 5 年度新幹線鉄道騒音・振動測定計画

1 目的

新幹線鉄道沿線地域における騒音・振動について、環境基本法第 16 条に規定する新幹線鉄道騒音に係る環境基準（昭和 50 年環境庁告示第 46 号）の達成状況を把握するとともに、地域指定の範囲を見直しするための基礎資料を得ることを目的とする。

2 測定地点

令和 5 年度に測定を実施する地点及び騒音に係る環境基準を表 1 に示す。

なお、振動の指針値は 70dB 以下である（S51.3 環境庁「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について」）。

表 1 測定地点及び環境基準

No.	測定場所		用途地域の区分	類型	R 5	R 4
1	一関市	一関市要害	第一種住居地域	I		○
2	花巻市	花巻市矢沢第 7 地割	—	II	○	○
3	紫波町	紫波郡紫波町日詰西五丁目	第一種住居地域	I	○	○
4	矢巾町	紫波郡矢巾町北矢幅第 3 地割	—	II	○	○
5	滝沢市	滝沢市滝沢字葉の木沢山	第一種住居地域	I		○
6	岩手町	岩手郡岩手町五日市第 10 地割	第一種住居地域	I	○	○
7	一戸町	鳥越	—	II		○
(8)	盛岡市	盛岡市厨川四丁目	工業地域	II	○	
(9)	盛岡市	盛岡市渋民字山屋	—	II	○	
(10)	二戸市	二戸市米沢下平	—	II	○	

【環境基準】 I 類型：70dB 以下、II 類型：75dB 以下

3 測定方法

新幹線鉄道騒音測定・評価マニュアル（平成 27 年 10 月環境省）に準じて実施する。

盛岡以南では、連続で通過した 20～25 本について測定を実施する。また、盛岡以北では、通過本数が少ないことから、連続 6 時間程度、10～15 本の測定を行う。

測定の位置は、騒音は軌道中心から 25m 離れた地点、振動は 12.5m の地点とする。

4 その他

本計画策定時と異なる状況が判明した場合、随時、測定地点の追加・削除等を行い、新幹線鉄道騒音・振動測定を実施する。